

商品名 クレセンバカプセル100mg 医薬品基本情報

薬効	6179 その他の主としてカビに作用するもの	一般名	イサブコナゾニウム硫酸塩カプセル
英名	Cresemba	剤型	カプセル
薬価	4476.60	規格	100mg 1カプセル
メーカー	旭化成ファーマ	毒劇区分	(劇)

クレセンバカプセル100mgの効能・効果

(ムーコル症、クリプトコックス脳髄膜炎、単純性肺アスペルギローマ、播種性クリプトコックス症、慢性進行性肺アスペルギルス症、侵襲性アスペルギルス症、肺クリプトコックス症、クリプトコックス症、アスペルギルス症)の治療

クレセンバカプセル100mgの使用制限等

1. イトラコナゾール投与中、クラリスロマイシン投与中、リトナビル投与中、リファブチン投与中、リファンピシン投与中、カルバマゼピン投与中、ボリコナゾール投与中、フェノバルビタール投与中、セイヨウオトギリソウ＜セント・ジョーンズ・ワート＞含有食品摂取中、フェニトイン投与中、コピシスタット含有製剤投与中、ホスフェニトインナトリウム水和物投与中、ロミタピドメシル酸塩投与中、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 先天性QT短縮症候群、重度肝機能障害、Child－Pugh分類C	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	相対禁止
3. 類薬で薬物過敏症の既往歴、Child－Pugh分類A及びB、軽度及び中等度肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

クレセンバカプセル100mgの副作用等

1. 肝機能検査異常、肝機能異常	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 皮膚粘膜眼症候群、Stevens－Johnson症候群、肝機能障害、肝炎、腎不全、ショック、アナフィラキシー	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. 肝損傷、急性腎障害	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満

4. 悪心、ほてり	記載場所	その他の副作用
5. 白血球減少症、好中球減少症、汎血球減少症、心房細動、心房粗動、徐脈、上室性期外収縮、上室性頻脈、回転性めまい、腹部膨満、腹痛、便秘、消化不良、無力症、胸痛、疲労、倦怠感、肝腫大、過敏症、低アルブミン血症、低血糖、低カリウム血症、低マグネシウム血症、背部痛、脳症、頭痛、末梢性ニューロパチー、錯感覚、失神、痙攣、譫妄、うつ病、不眠症、急性呼吸不全、気管支痙攣、頻呼吸、脱毛症、皮膚炎、点状出血、皮膚そう痒症、発疹、低血圧、血栓性静脈炎	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
6. 動悸、心室性期外収縮、抗利尿ホルモン不適合分泌、下痢、嘔吐、末梢性浮腫、胆嚢炎、血圧低下、血小板数減少、血中クレアチニン増加、好中球数減少、心電図異常、体重減少、高カリウム血症、食欲減退、低ナトリウム血症、筋力低下、異常感覚、感覚障害、感覚鈍麻、傾眠、味覚不全、痙攣発作、血尿、腎機能障害、呼吸困難、口腔咽頭不快感、発声障害、そう痒性皮疹、光線過敏性反応、湿疹、皮膚乾燥、薬疹、冷汗、高血圧	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
7. 肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 急性腎障害、腎不全	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
9. 発がん性、胎仔骨格異常、胎仔催奇形性、肝芽細胞腫増加、肝臓血管腫増加、皮膚線維腫増加、子宮内膜腺癌増加、卵巣間質細胞空胞化、副腎皮質細胞肥大、副腎皮質細胞空胞化	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

クレセンバカプセル100mgの相互作用

1. 薬剤名等：リトナビル	発現事象	本剤の血中濃度が上昇し作用が増強	投与条件	-
	理由・原因	これらの薬剤はCYP3Aを強く阻害	指示	禁止
2. 薬剤名等：コビシスタット含有製剤	発現事象	本剤の血中濃度が上昇し作用が増強	投与条件	-
	理由・原因	これらの薬剤はCYP3Aを強く阻害	指示	禁止
3. 薬剤名等：イトラコナゾール	発現事象	本剤の血中濃度が上昇し作用が増強	投与条件	-
	理由・原因	これらの薬剤はCYP3Aを強く阻害	指示	禁止
4. 薬剤名等：ボリコナゾール	発現事象	本剤の血中濃度が上昇し作用が増強	投与条件	-
	理由・原因	これらの薬剤はCYP3Aを強く阻害	指示	禁止

5. 薬剤名等：クラリスロマイシン

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤はCYP3Aを強く阻害	指示	禁止

6. 薬剤名等：リファンピシン

発現事象	本剤の血中濃度が低下し作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤等はCYP3Aを強く誘導	指示	禁止

7. 薬剤名等：リファブチン

発現事象	本剤の血中濃度が低下し作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤等はCYP3Aを強く誘導	指示	禁止

8. 薬剤名等：カルバマゼピン

発現事象	本剤の血中濃度が低下し作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤等はCYP3Aを強く誘導	指示	禁止

9. 薬剤名等：フェノバルビタール

発現事象	本剤の血中濃度が低下し作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤等はCYP3Aを強く誘導	指示	禁止

10. 薬剤名等：セイヨウオトギリソウ含有食品

発現事象	本剤の血中濃度が低下し作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤等はCYP3Aを強く誘導	指示	禁止

11. 薬剤名等：フェニトイン

発現事象	本剤の血中濃度が低下し作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤等はCYP3Aを強く誘導	指示	禁止

12. 薬剤名等：ホスフェニトインナトリウム水和物

発現事象	本剤の血中濃度が低下し作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤等はCYP3Aを強く誘導	指示	禁止

13. 薬剤名等：ロミタピドメシル酸塩

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤はロミタピドの代謝酵素（CYP3A）を阻害	指示	禁止

14. 薬剤名等：ロピナビル・リトナビル

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し作用が増強	投与条件	-
理由・原因	リトナビルはCYP3Aを阻害	指示	注意

15. 薬剤名等：ロピナビル・リトナビル

発現事象	血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

16. 薬剤名等：CYP3Aを阻害する薬剤等

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し作用が増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤等はCYP3Aを阻害	指示	注意

17. 薬剤名等：CYP3Aにより代謝される薬剤

発現事象	血中濃度が上昇し作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤はこれらの薬剤の代謝酵素（CYP3A）を阻害	指示	注意

18. 薬剤名等：エファビレンツ

発現事象	相互に血中濃度が低下し作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	本剤はエファビレンツの代謝酵素（CYP2B6）を誘導、エファビレンツは本剤の代謝酵素（CYP3A）を誘導	指示	注意

19. 薬剤名等：シクロホスファミド

発現事象	作用が減弱、活性代謝物の血中濃度が変動、毒性が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤は、シクロホスファミドの代謝酵素であるCYP2B6を誘導し、CYP3Aを阻害	指示	注意

20. 薬剤名等：ビンカアルカロイド系抗悪性腫瘍剤

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤はCYP3A及びP-gpの基質であり、本剤はCYP3A及びP-gpを阻害	指示	注意

21. 薬剤名等：コルヒチン

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤はCYP3A及びP-gpの基質であり、本剤はCYP3A及びP-gpを阻害	指示	注意

22. 薬剤名等：エベロリムス

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤はCYP3A及びP-gpの基質であり、本剤はCYP3A及びP-gpを阻害	指示	注意

23. 薬剤名等：P-gpの基質となる薬剤

発現事象 血中濃度が上昇し作用が増強

投与条件 -

理由・原因 これらの薬剤はP-gpの基質であり、本剤はP-gpを阻害

指示 注意

24. 薬剤名等：ミコフェノール酸モフェチル

発現事象 活性代謝物であるミコフェノール酸の血中濃度が上昇し作用が増強

投与条件 -

理由・原因 本剤はミコフェノール酸の代謝酵素（UGT）を阻害

指示 注意

25. 薬剤名等：メトホルミン

発現事象 血中濃度が上昇し作用が増強

投与条件 -

理由・原因 メトホルミンはOCT2及びMATE1の基質であり、本剤はOCT2及びMATE1を阻害

指示 注意

